

令和3年度教育活動に関する児童・保護者アンケート(A票)集計結果 R3年11月実施

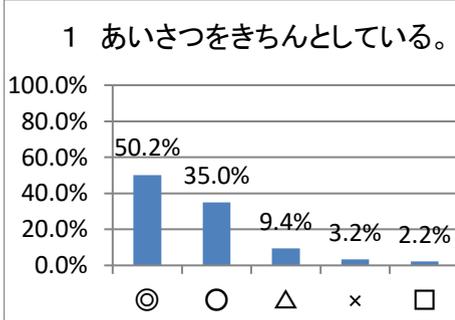
芳賀町立芳賀東小学校

回答数 児童 277名(99.6%) 保護者 277名(99.6%)

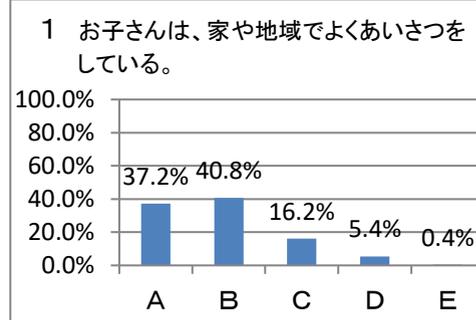
	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	判断できない
児童	◎	○	△	×	□
保護者	A	B	C	D	E

○「やさしい子」の育成について

<児童>

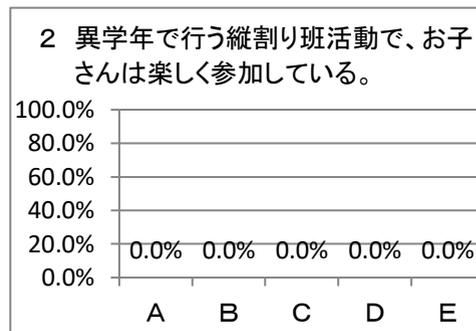
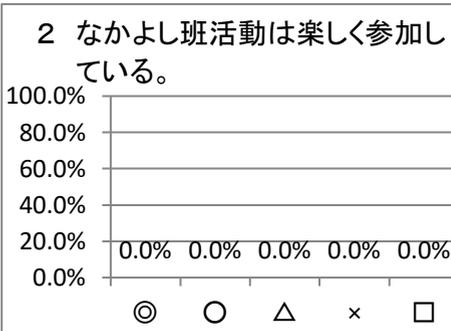


<保護者>

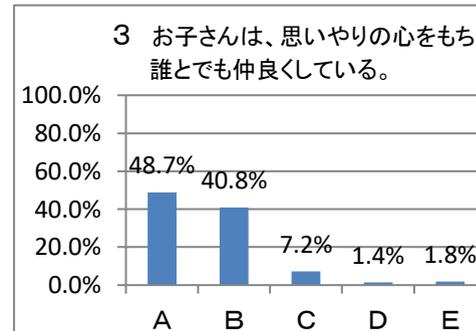
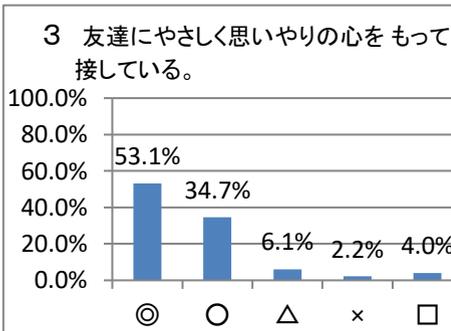


○項目1の「あいさつ」については「あてはまる」「ややあてはまる」の割合の合計が、児童については、85%を超えていることから、あいさつを意識して実践していることが伺える。

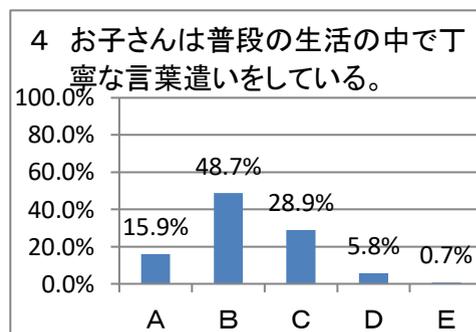
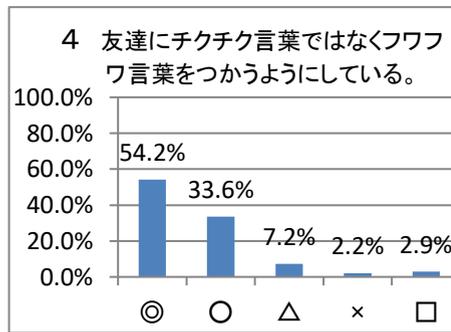
●一方、保護者の割合はやや低く、保護者と児童との意識に差がみられる。B票(記述アンケート)から児童の誰もがどんな場においても(学校以外でも)あいさつできるようになることを願っていることが伺える。毎年同じ傾向なので、家庭地域との指導の連携が必要である。



○項目2の「異学年で行う活動」については、今年度も、コロナウイルス感染症対策で活動を極力控えたため、児童・保護者とも回答対象とはしなかった。



○項目3の「思いやりの心」については、児童・保護者とも、「あてはまる」「ややあてはまる」の割合の合計が90%近くであることから、友達と仲良く接していると認識していることが分かる。

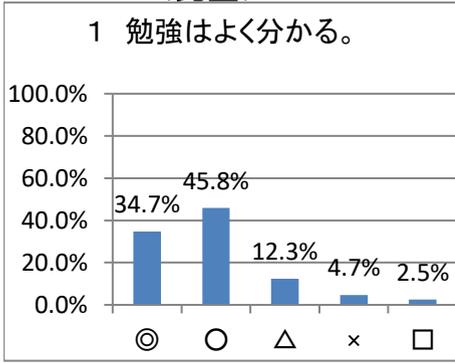


○項目4の「フワフワ言葉・丁寧な言葉遣い」については、肯定的な割合は、90%近くであることから、相手を思いやる言葉遣いを意識していることが伺える。

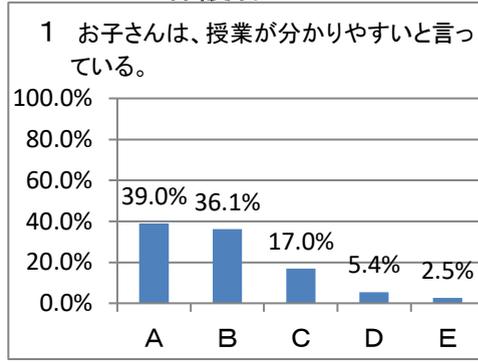
●保護者については、昨年度と同様、肯定的な回答が児童よりは少ない。継続的な指導の必要性を感じる。

○「考える子」の育成について

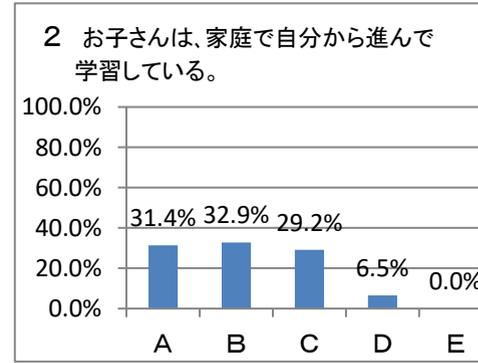
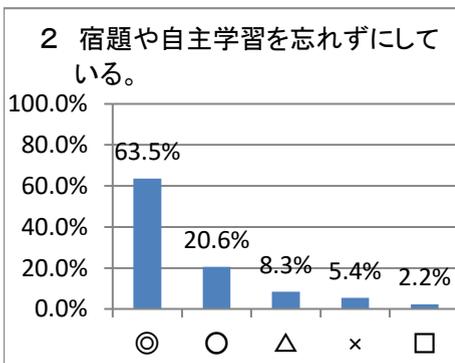
＜児童＞



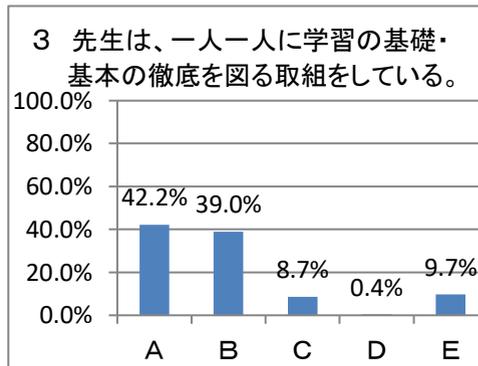
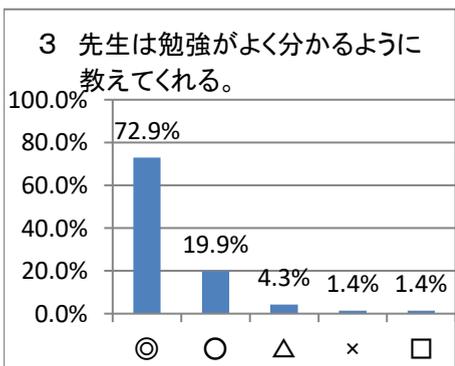
＜保護者＞



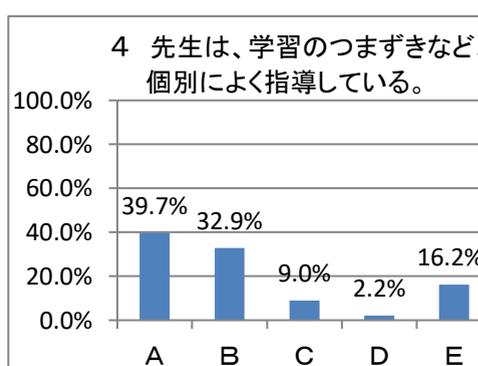
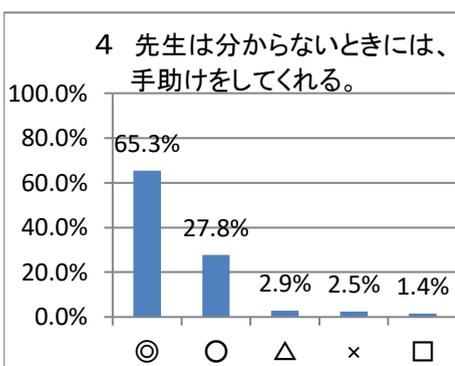
○項目1の「授業の理解」については、児童は約80%が概ね理解していると回答している。
 ●児童、保護者とも「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の回答が17%、22%見られるのが課題である。学年同一歩調での指導や基本的な学習態度の指導の徹底を続けていきたい。



○項目2の「家庭学習」については、児童は、80%以上がほぼ家庭学習を行っていると言っており、家庭学習の習慣が身に付いていることが伺える。
 ●保護者においても昨年度と比べ、肯定的な回答が増加しているが、他の項目に比べると肯定的な回答の割合が低いので、家庭との連携を図り定着を図っていく必要がある。



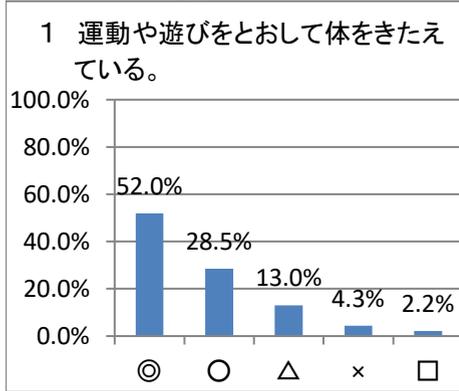
○項目3の「教師の学習指導」については、児童は90%以上が肯定的な回答をしている。保護者についても、肯定的な回答は前年度より増加した。取組の発信を通し、さらに学習指導についての理解を図っていききたい。



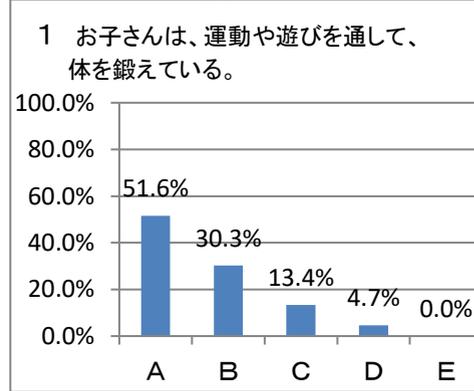
○項目4の「学習のつまずきへの対応」については、児童は90%以上が肯定的な回答をしている。
 ●一方、保護者については、肯定的な回答は約72%と、児童との意識の差が大きく見られる。これは前年度と同じ傾向である。3の項目と同様、学校の取組について効果的な発信をするなど、学力向上の取組への理解と協力を図っていききたい。

○「たくましい子」の育成について

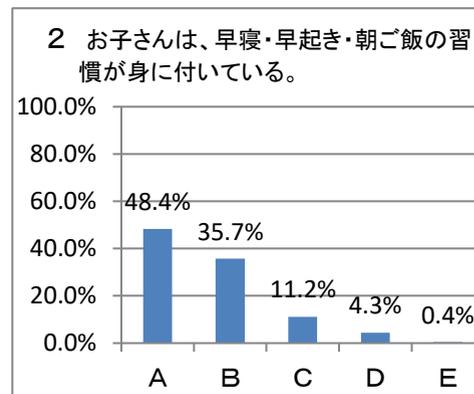
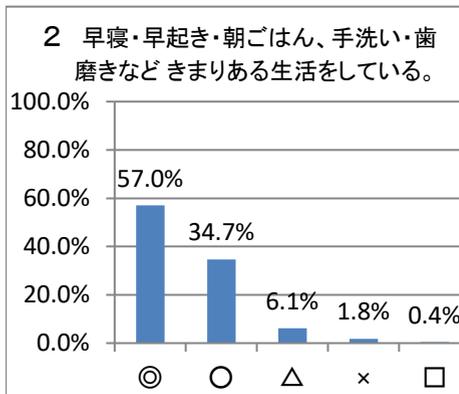
<児童>



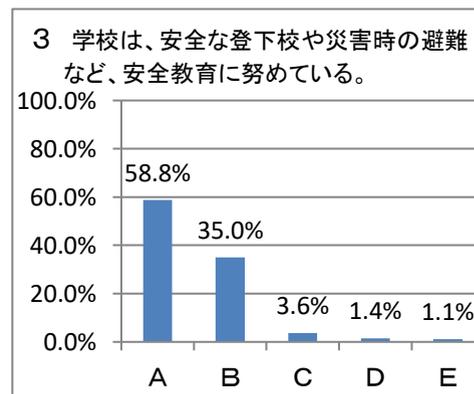
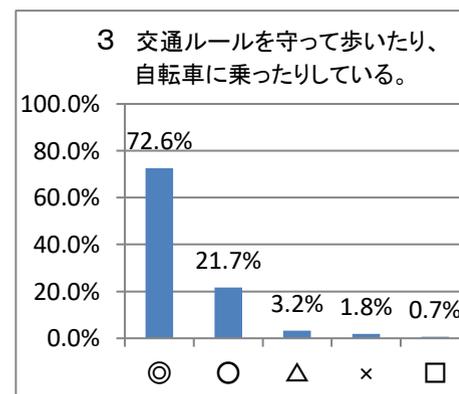
<保護者>



●項目1「運動」については、児童の肯定的な回答は約80%で、前年度よりは減少した。保護者については、前年度と同じ傾向にある。コロナウイルス感染症の影響もややあるのかもしれない。

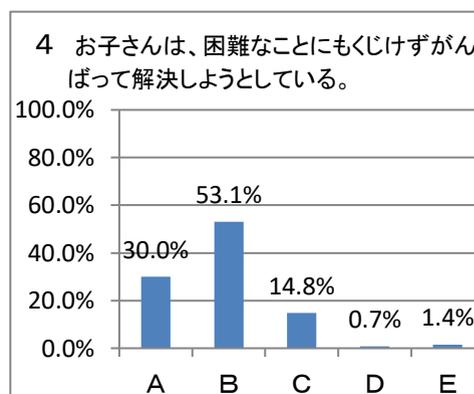
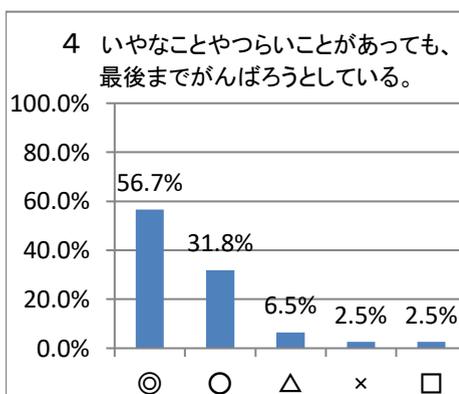


○項目2「生活習慣」については、児童の肯定的な回答の割合が、前年度同様約90%で、きまりある生活をしていると回答している。○保護者においては、約83%で前年度と同程度である。



○項目3「交通安全」について、児童は約94%と、かなり高い割合で交通安全を意識している結果が出ている。保護者についても、災害時の避難訓練等も含めて、「安全教育」に関して90%以上が肯定的に受け止めている。昨年度と同じ傾向である。

●実際には、道路の歩行や自転車の乗り方など個別の指導が必要な面もあるので、継続的に安全教育に努めていくことが重要である。

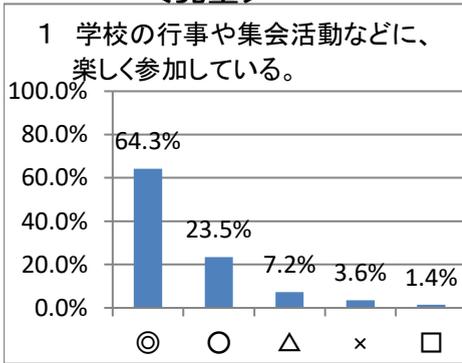


○項目4「がんばる心」については、前年度と比べて、保護者の肯定的な回答は、増加した。

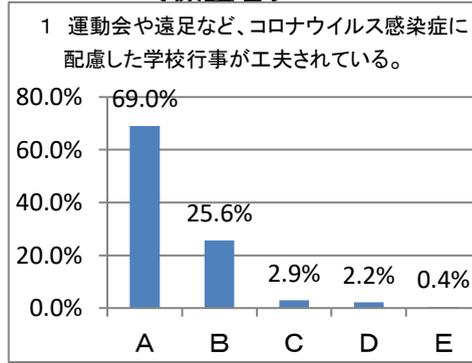
●児童については、肯定的な回答は、やや減少した。一人一人の意識の高揚が課題である。

○学校生活全般について

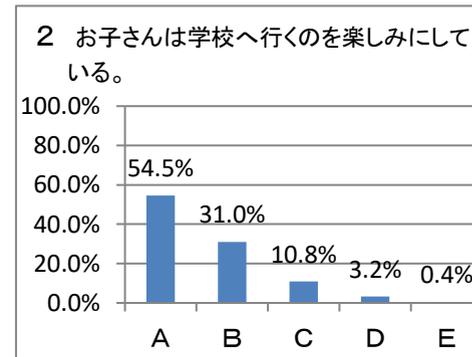
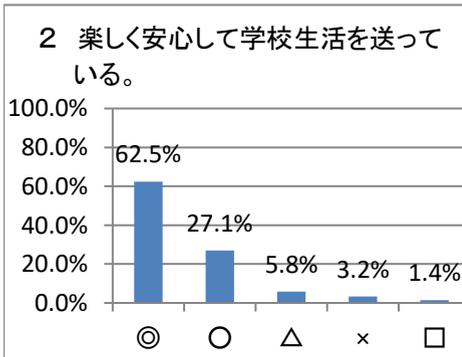
＜児童＞



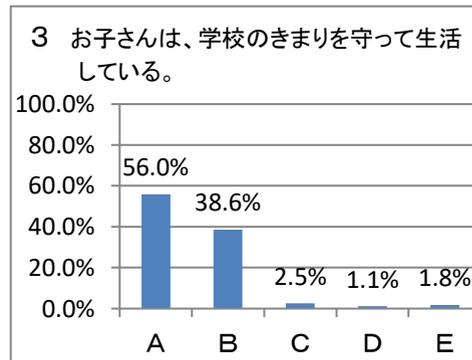
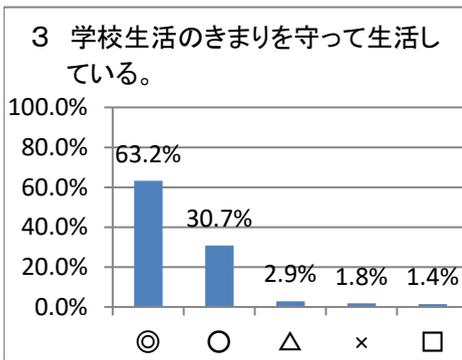
＜保護者＞



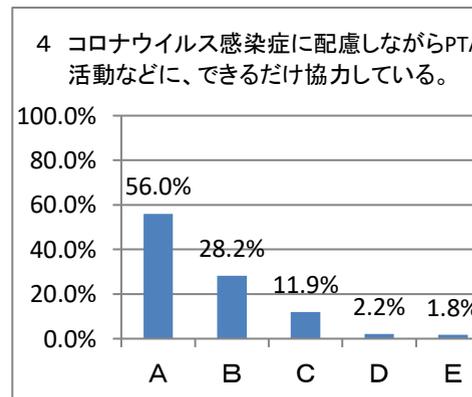
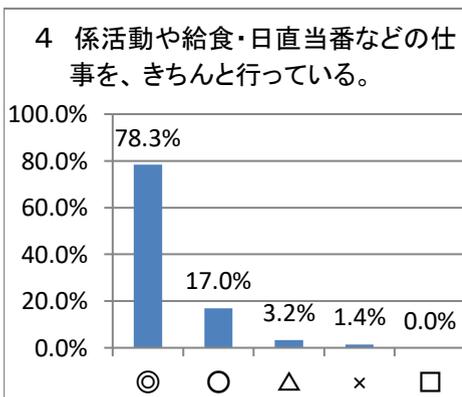
○項目1「学校行事、集会活動」について、肯定的な回答をした割合は、児童・保護者ともに、高い割合である。コロナ禍にあって、今年度に合わせた実施の仕方を模索し、工夫して開催しようとする気持ちが児童・保護者・学校で共有できたと感じる。



●項目2「楽しい学校生活」については、児童、保護者とも肯定的な回答が90%近くであるが、否定的な回答が前年度より増加しているので、個を大切にしながら対応に努めていきたい。

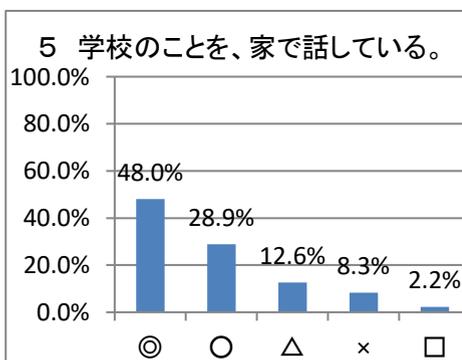


○項目3「きまりを守る」については、児童、保護者とも「あてはまる」「ややあてはまる」の割合の合計が90%以上であり、きまりを守って生活していると認識していることがわかる。一人一人の意識が、集団としても心地よく生活していくことにつながるのだということに気付かせたい。



○児童項目4「係・当番活動」については、約95%の児童が行っていると回答している。自分の仕事や役割にきちんと取り組んでいることがわかる。

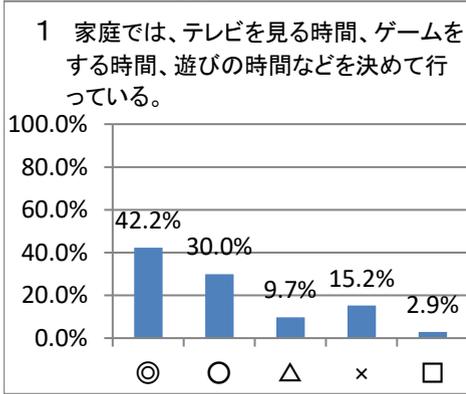
●保護者項目4「学校行事等への参加」については、コロナ禍により準備計画について共通理解が図られなかった面があり、実施方法に課題が残った。来年度の反省事項として生かしたい。



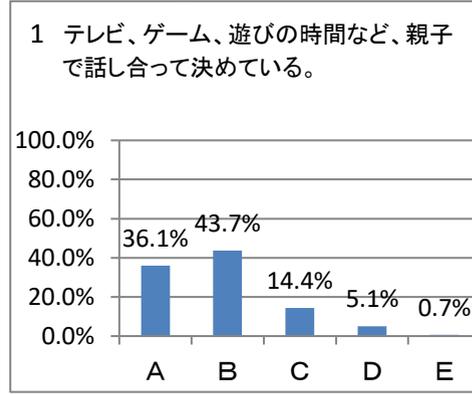
●児童項目5「学校のことを話す」については、前年度と比べ肯定的な回答の割合が減少した。話題提供のきっかけ作り(学校・学年だより・ホームページ)を続けていきたい。

○家庭生活について

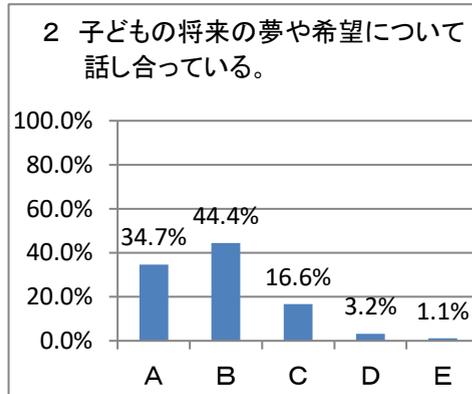
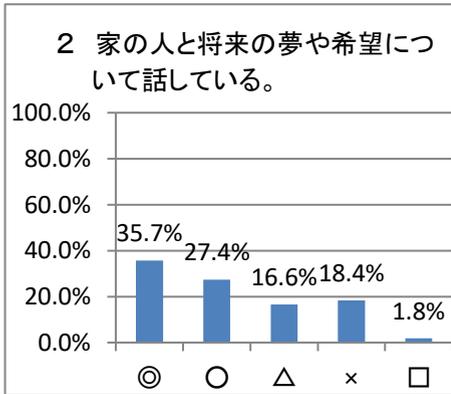
＜児童＞



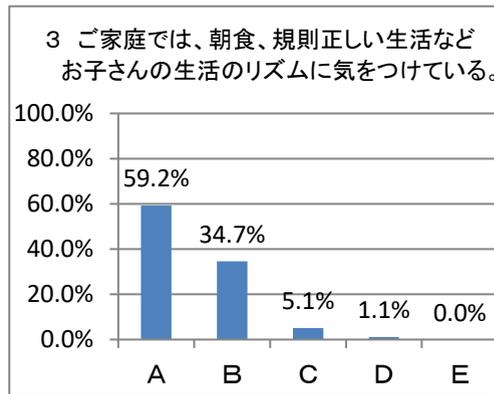
＜保護者＞



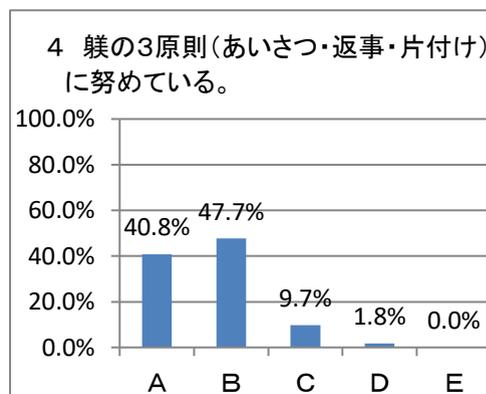
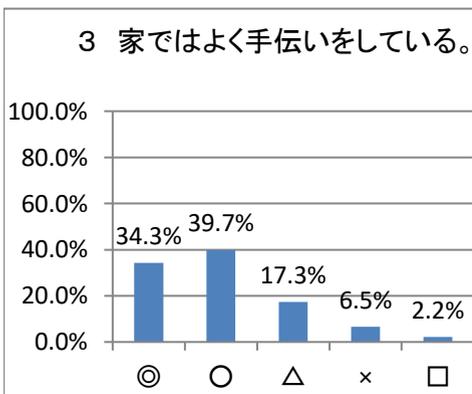
○項目1「テレビ・ゲームは時間を決めて行っている」については、児童・保護者とも肯定的な回答の割合は、前年度とほぼ同じである。



○項目2「将来の夢や希望」については、児童・保護者とも肯定的な回答が、前年度よりやや減少した。



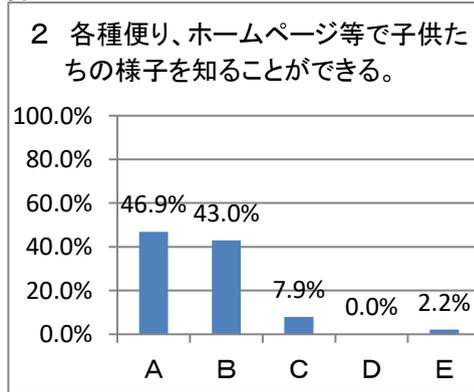
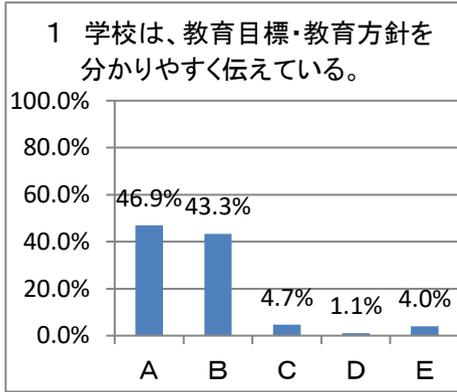
●項目3「生活のリズム」については、肯定的な回答の割合が、前年度と同じ程度であり、保護者の意識の高さがうかがえる。



●児童項目3「手伝い」については、していると回答した割合が、前年度と比べ減少した。○家庭での躰に関しては、肯定的な回答が、増加した。

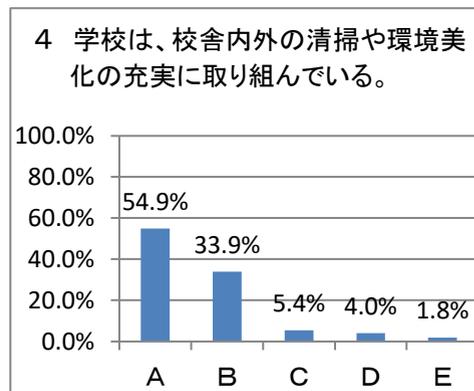
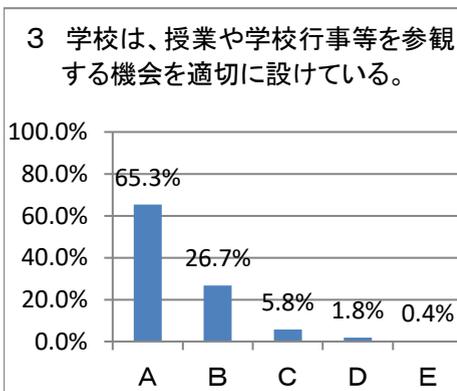
○学校教育全体について

<保護者>



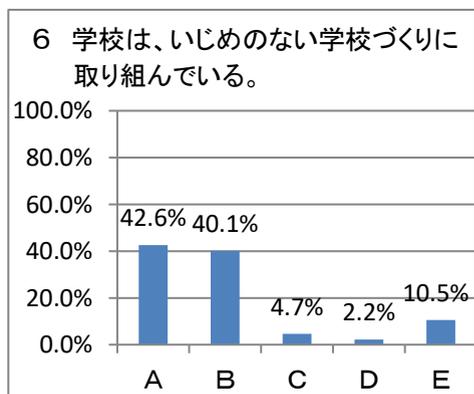
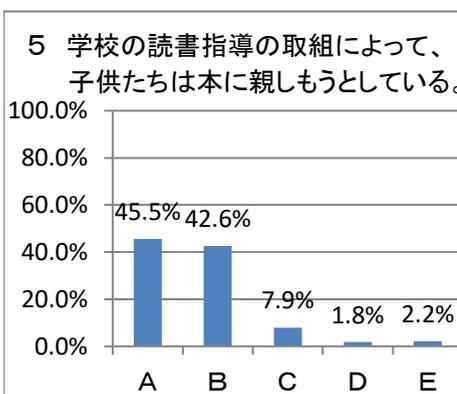
○項目1については、90%以上の保護者が肯定的に受け止めている。
●否定的な回答もあることから、より理解を図っていく必要がある。

○項目2については、肯定的な回答が約90%で、B票(記述アンケート)におけるご意見も参考にしながらさらに、改善を図っていききたい。



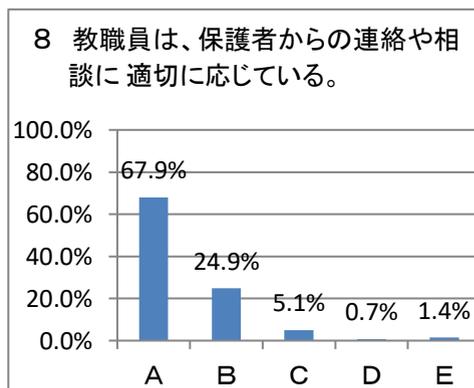
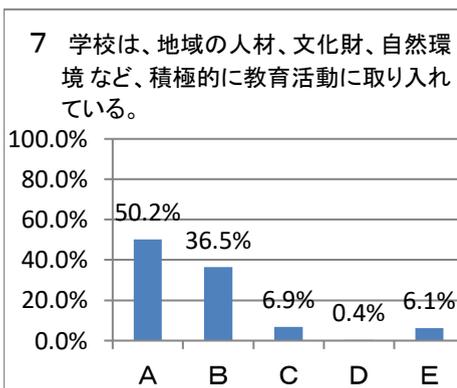
○項目3については、前年度同様約92%の肯定的な回答が得られた。

○項目4については、88%以上肯定的な回答が得られた。B票(記述アンケート)におけるご意見も参考にしながらさらに、改善を図っていききたい。



○項目5については、前年度同様、約88%の肯定的な回答がえられた。読み聞かせが2学期途中より再開し、児童の読書への意識の向上につながっていると考えられる。

○項目6については、肯定的な回答が約82%で、前年度と比べ増加した。否定的な回答は減少した。今後も、児童・保護者の声に耳を傾け、児童の様子に細かく目を配り、指導に当たっていききたい。



○項目7については、前年度同様約86%の肯定的な回答が得られた。コロナ禍にあつて、児童の効果的な学習活動につながるよう工夫して実施していききたい。

○項目8については、前年度同様92%の肯定的な回答が得られた。否定的な意見もあることから、これからも、誠意ある態度で臨み、児童の教育に邁進したい。